

「長岡市子ども計画（案）」（やさしい版）に関するパブリックコメントの実施結果 ～大人からの意見～

1 概要

(1) 実施期間

令和7年1月27日（月曜日）から2月25日（火曜日）まで

(2) 実施の周知

- ・市ホームページ及び市政だより（2月号）への掲載
- ・アオーレ長岡東棟1階情報ラウンジ、さいわいプラザ6階子ども・子育て課及び各支所地域振興・市民生活課（栃尾支所は地域振興課）への備付け

(3) 意見提出者

1人

(4) 意見件数

6件

2 寄せられたご意見と市の考え

No	該当箇所	意見の概要	市の考え
1	—	<p>加筆を求める箇所 p4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『お金や行き方などで困らずに』お医者さんに行けるようにします。（お医者さんに行ける だけだと当たり前のように感じるので、金銭面や、できれば交通の便も含めた点などで、困らないように行けるというニュアンスを明確にする。）</li> </ul> <p>p6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・④ 配慮が必要な子どもを支えます について <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離通学や、中心市街地の教育施設・教育環境・施策・イベント等へのアクセスが難しい子供に、交通面でのサポートを行う旨加えるべきだと考えます。「車などがなく、自分で移動することが難しい子供の皆さんでも、好きな学校で勉強をしたり、子供のために開くイベントに自由に参加できたりするよう、できるかぎり手助けします。」などでしょうか。「バスやタクシー、電車などを便利にしたり、使うときのお金を割り引いたりするなど」など具体的になるとなお良いです。</li> </ul> </li> <li>・③ 必要な医療が受けられるようにします について <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者として、発達障害や複雑性を含むPTSD、トラウマ、その他うつ等のメンタルの不調の、早期発見と治療への取り組みを盛り込んでいただきたいです。「発達障害（ふつうより大きな、得意と不得意の差）や、つらい出来事による心の傷、心の元気がないことなどについて、それを早く見つけるための検査などを行って、早く見つけ、早く治療を始められるようにします。」などでしょうか。これについては私自身が、発達障害と生育歴による複雑性PTSDによって10年から20年ほどの人生の時間を無駄にした経験によるもので、また一人の父親としても、強く希望いたします。発達障害やPTSD、トラウマについては毎年の歯科検診のように、うつ等については学期ごとの身体計測のように、定期的に検査を行えるよう、まずは調査からかと思いますが、検討していただきたいです。</li> </ul> </li> </ul>	<p>「長岡市子ども計画」について、子どもたちに分かりやすく伝えるための資料を見直すときの参考にさせていただきます。</p>

No	該当箇所	意見の概要	市の考え
2	—	誤字脱字 p4 ・②：活動『が』できる場 ・④の 必要 のルビがない（意見による修正後、全体的に再チェックしたほうがよいかもです） p6 ・保育サービスを受け『ら』れるように	No.1に記載のとおりです。
3	—	言い換えたほうがよさそうな文言 ・サポートして→たすけて ・どのような人生プランがいいか→何歳のときに、どのように暮らしていたいか ・意見→考え ・子育て支援を受けることが当たり前の社会 → 子育てを助けてもらえることが当たり前の社会 ・希望する働き方 → したいと思う働き方 ・ひとり親 → お父さんとお母さんのふたりではなく、ひとりで子供を育てている親 ・さまざま→いろいろな ・課題を→困りごとを ・理解し、→わかってあげ、 ・生活→くらし ・働き先の確保→仕事をもらうこと	No.1に記載のとおりです。
4	—	注釈があるとよさそうな文言 ・権利：社会の中で、私たちが互いに、してもよいと認めあったり、してもよいということを確認しあったりした、色々な行い。 ・健康 ・暴力：むりやり、嫌なことをされたり、言われたり、させられたりすること。とくにそのせいで、体や心が傷ついたり、自分の物やお金が取られたり、なくなったりしてしまうこと。 ・配慮 ・活動 ・学習 ・教育 ・負担：お金をかけたり、何か我慢をしたりしてでも、やらなくてはいけないこと。 (ほか、言い換えたほうがよさそうな文言に挙げたもののうち、言い換えを行わなかったもの)	No.1に記載のとおりです。
5	—	幼児、小学校低学年向けの文章もあるとよさそうです。	No.1に記載のとおりです。

No	該当箇所	意見の概要	市の考え
6	—	<p>政策等の提案など</p> <p>市内の夫婦に、子育てに関する支援制度等のお知らせを定期送付してはどうか。周期は選択式にして、押しつけがましくないようにしつつ、子育てのチャンスやチャレンジ意欲を後押しする必要があると考える。</p> <p>財政負担と、それ以上に過剰診療による弊害（小児科逼迫による真に必要な医療提供への悪影響）を鑑み、小児医療費助成は現行の一部負担のままとすることを強く支持する。また現状でさえ医療体制が逼迫している現状に鑑み、仮に全額免除を求める意見があったとしても、全額免除とすることには強く反対する。仮にもし全額免除とする場合は、真に必要な医療の提供を目的とした、別料金による優先診療制度の創設が必要となる恐れがある。これについては実際に小児科に子供を連れて行く親の立場から強く危惧しており、ぜひ警告しておきたい。</p> <p>一方で、医療費を全額負担としない理由については、現実の医療の逼迫をさらに悪化させないための判断であることを、市の広報や、また小児科での掲示によって広く適切に周知され、当事者の反発を生まず、子育て世代や関係者への最善の配慮が伝わるよう、適切に対応されたい。</p> <p>インターネットにおける不適切な、特に成人向けの広告や、いわゆるダークパターンにより半強制的にクリックや購入を誘う広告、有名人の名を騙りまた容姿等へのコンプレックスにつけこんで詐欺を行う広告の氾濫、またクリックしなくとも感染するウイルス付き広告の存在に鑑み、子育て世帯への広告ブロッカー導入への費用助成等を検討されたい。</p>	<p>今後のこども施策の中で検討します。</p>